二〇二七年度法科大学院入学試験問題

小論文

注意事項

Ⅰ 試験開始の指示があるまで問題用紙を開いてはいけません。

Ⅱ 解答用紙は一枚配付します。

Ⅲ 解答にあたっては、黒インクのボールペンまたは万年筆のいずれかを使用してください（ただし、インクがプラスチック製消しゴムで消せないものに限ります）。それ以外で解答用紙に記入した場合は、無効とします。また、解答用紙欄外へ記入されているものは採点の対象としません。

Ⅳ 解答を訂正するときは、訂正部分が数行にわたる場合は斜線で、一行の場合には横線で消して、その次のマス目から書き直してください（余白には書かないでください）。修正液・修正テープを使用してはいけません。

Ⅴ 解答は**横書き**で記入してください。

Ⅵ 試験時間は六〇分です。

Ⅶ 問題は八ページで一問です。

問題　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作物の関係上、本文については、ホームページでの公開を行っておりません。

〔山内進『「正しい戦争」という思想』（勁草書房）より　※一部本文の改変を行っている〕

〔問〕課題文を読んで、（1）アメリカでは一般に、どのような戦争が「正しい戦争」とされているのかを簡潔に整理し、（2）アメリカにおける議論も参考にして、「正しい戦争」に対するあなたの考えを述べなさい。（1）を100字以内、（1）及び（2）をあわせて全体として800字以内で解答すること）